



山形県感染症発生動向調査

平成29年第44週(10月30日～11月5日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2017年11月8日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※◎:警報レベル ○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1～44週
	第43週	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	1772 0.36	3 0.06	△		3 0.15	△											11422
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	4083 1.29	35 1.17	28 0.93	▼	18 1.38	12 0.92	▼	1 0.33	1 0.33		11 1.83	8 1.33	▽	5 0.63	7 0.88	△	1653
咽頭結膜熱	1687 0.53	78 2.60	67 2.23	▽	56 ◎4.31	31 ◎2.38	▽	3 1.00		▽	18 ◎3.00	34 ◎5.67	▲	1 0.13	2 0.25	△	1004
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	6204 1.97	117 3.90	122 4.07	△	57 4.38	66 5.08	△	2 0.67		▽	46 ◎7.67	38 ◎6.33	▼	12 1.50	18 2.25	△	6006
感染性胃腸炎	11455 3.63	87 2.90	82 2.73	▽	58 4.46	50 3.85	▽		4 1.33	△	18 3.00	16 2.67	▼	11 1.38	12 1.50	▲	6028
水痘	924 0.29	14 0.47	21 0.70	△	3 0.23	6 0.46	△	1 0.33	2 0.67	▲	9 1.50	10 1.67	▲	1 0.13	3 0.38	△	537
手足口病	6522 2.07	98 ◎3.27	74 ◎2.47	▽	11 0.85	8 0.62	▽	27 ◎9.00	23 ◎7.67	▼	45 ◎7.50	26 ◎4.33	▽	15 1.88	17 2.13	△	3448
伝染性紅斑	219 0.07	13 0.43	10 0.33	▼	2 0.15	2 0.15		1 0.33	1 0.33		10 ◎1.67	6 ◎1.00	▼		1 0.13	△	635
突発性発しん	1373 0.44	22 0.73	15 0.50	▽	4 0.31	4 0.31			1 0.33	△	10 1.67	6 1.00	▽	8 1.00	4 0.50	▽	820
百日咳	49 0.02																24
ヘルパンギーナ	1258 0.40	12 0.40	14 0.47	▲	5 0.38	8 0.62	▲				1 0.17	1 0.17		6 0.75	5 0.63	▽	1246
流行性耳下腺炎	982 0.31	10 0.33	6 0.20	▽	7 0.54	2 0.15	▽	1 0.33		▽	1 0.17	4 0.67	△	1 0.13		▽	563
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	6 0.01																
流行性角結膜炎	517 0.74	6 0.75	8 1.00	△	5 1.25	6 1.50	△				1 1.00	2 2.00	△				163
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	5 0.01	3 0.30	1 0.10	▽	3 0.75	1 0.25	▽										82
クラミジア肺炎	7 0.01																
マイコプラズマ肺炎	153 0.32	6 0.60	6 0.60		3 0.75	2 0.50	▽	2 2.00	1 1.00	▽				1 0.33	3 1.00	▲	195
細菌性髄膜炎	7 0.01																5
無菌性髄膜炎	17 0.04																8

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1				
	無症状病原体保有者	1				

<通信欄>

※第44週に報告されたインフルエンザの迅速キットによる型別は、A型(2件)、B型(1件)です。
 ※トピックスで、手足口病、咽頭結膜熱について掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ								1				1	1		
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
															3
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	3	7	8	6	1	2	1								28
咽頭結膜熱	2	5	18	17	7	7	3	3	2		2	1			67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			7	10	16	15	14	13	13	6	12	14	1	1	122
感染性胃腸炎	2	2	17	8	3	17	8	9	1	1	5	9			82
水痘		3	1	3	3	1	3	4	2	1					21
手足口病	1	9	22	16	12	6	4	1		1		1		1	74
伝染性紅斑			2	1	2	2	2			1					10
突発性発しん		7	5	3											15
百日咳															
ヘルパンギーナ		2	6	2	2			1		1					14
流行性耳下腺炎			1		3		2								6

<平成29年9月 月報>

2017年10月25日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～9月
	8月	9月	8月	9月	8月	9月	8月	9月	8月	9月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 24	14	9	6	10	4	1	2	4	2	164
	定点当り 2.40	1.40	2.25	1.50	10.00	4.00	0.50	1.00	1.33	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 5	7	2	2			1	2	2	3	56
	定点当り 0.50	0.70	0.50	0.50			0.50	1.00	0.67	1.00	
尖圭コンジローマ	報告数 4	2	2	1					2	1	16
	定点当り 0.40	0.20	0.50	0.25					0.67	0.33	
淋菌感染症	報告数 3	1	1					1	2		31
	定点当り 0.30	0.10	0.25					0.50	0.67		
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 7	6	1		1			1	5	5	59
	定点当り 0.70	0.60	0.25		1.00			0.50	1.67	1.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 21	27	11	16	1	2		3	9	6	192
	定点当り 2.10	2.70	2.75	4.00	1.00	2.00		1.50	3.00	2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数										2
	定点当り										

<トピックス>

【手足口病情報】

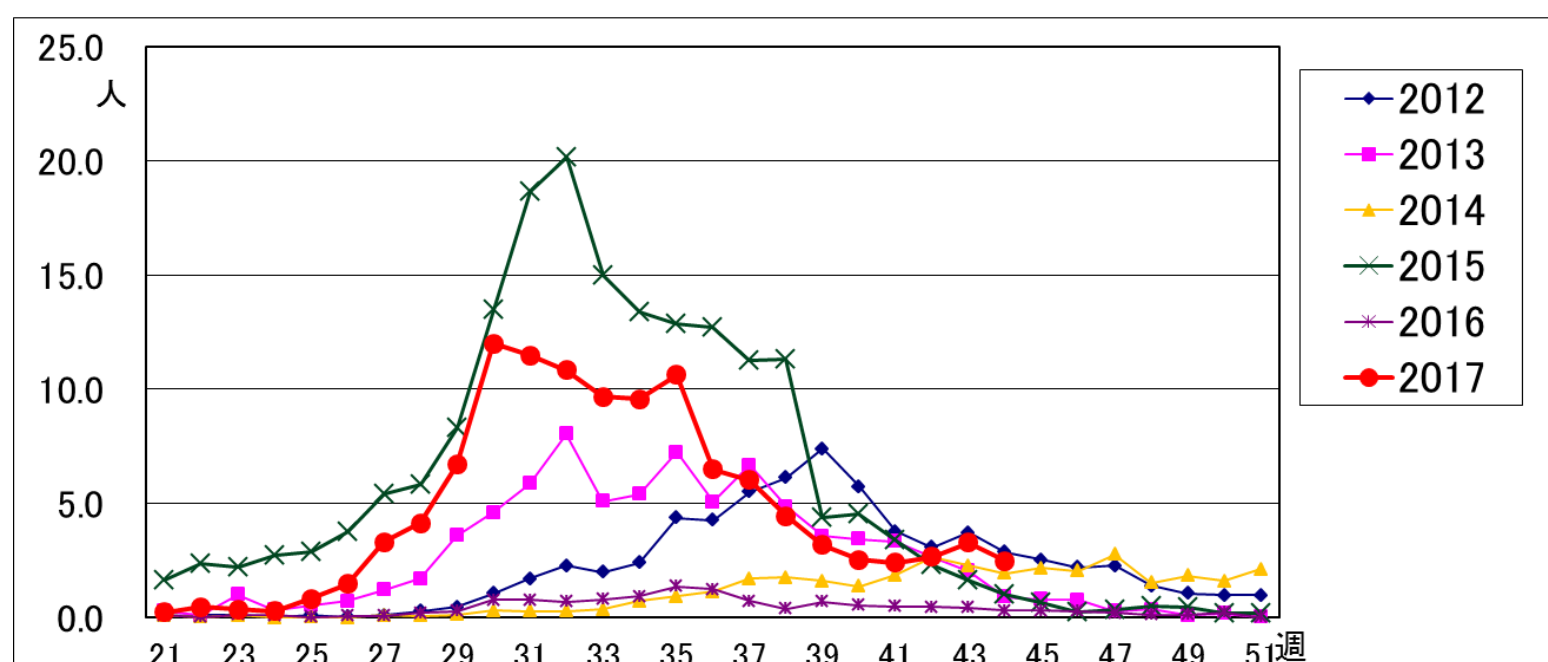
手足口病の定点あたり報告数が、最上地区、置賜地区で警報レベルとなっています。

・手足口病
警報開始基準値:5人 警報終息基準値:2人
・第44週 定点あたり報告数 (山形県:2.5人)
村山地区 0.6人、最上地区 7.7人、置賜地区 4.3人、庄内地区 2.1人

1. ウイルス分離・検出状況 :山形県衛生研究所(11月1日現在)

2017年に入って、山形県内の手足口病の患者から、コクサッキーウイルスA6が59件、コクサッキーウイルスA10が2件、コクサッキーウイルスA16が6件、エンテロ71が8件検出されています。

2. 定点あたり報告数の推移(山形県)



【予防法】

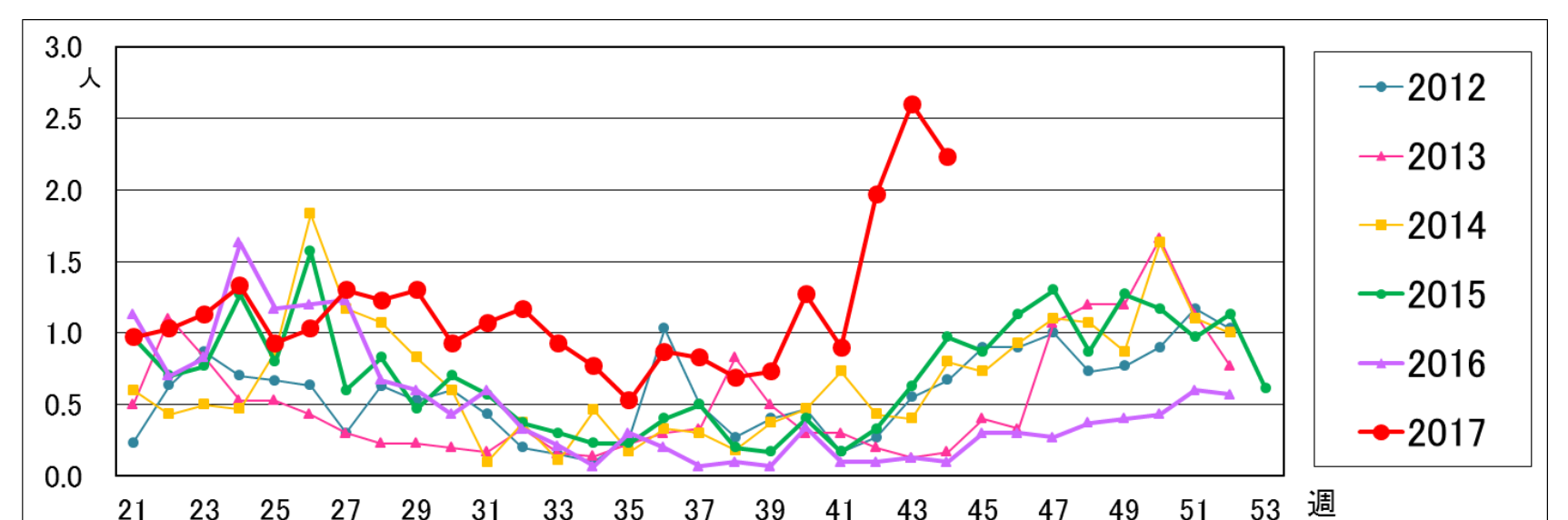
感染経路は、主として咽頭から排泄されるウイルスによる飛沫感染ですが、便中に排泄されたウイルスや、水疱内容物からも感染します。特に便中には長期にわたってウイルスが排泄されますので、手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することが大切です。

【咽頭結膜熱情報】

咽頭結膜熱の定点あたり報告数が、村山地区、置賜地区で警報レベルとなっています。

・咽頭結膜熱
警報開始基準値:3人 警報終息基準値:1人
・第44週定点あたり報告数 (山形県:2.2人)
村山地区 2.4人 最上地区 0.0人 置賜地区 5.7人 庄内地区 0.3人

・定点あたり報告数の推移(山形県)



咽頭結膜熱とは

咽頭結膜熱は発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症です。通常夏期に地域全体で流行し、6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月にピークとなります。プールでの感染も多く見られることからプール熱とも呼ばれます。

【症状】 発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに、喉の痛み、結膜の充血、眼痛などを訴え、3～5日間程度持続します。眼に永続的な障害を残すことはありません。

【予防法】 感染者との密接な接触を避け、うがいや手洗いをしっかりとすることが大切です。